

JICA NGO等提案型プログラム

京都発！SDGs国際協力アクター連携強化プログラム 「京都SDGsラボ」 実施報告及び協働事例集



2021年11月30日
認定NPO法人テラ・ルネッサンス



京都発！SDGs国際協力アクター連携強化プログラム「京都SDGsラボ」

主催：JICA

運営：テラ・ルネッサンス×京都市ソーシャルイノベーション研究所

実施期間：2019年12月～2021年11月

登録数：58名・団体（個人29名 企業、団体、教育機関29団体）

Facebookグループページ登録者数：160人

（2021年11月26日現在）



当初企画していたプログラム内容 新型コロナウイルス感染拡大によって延期となり、事業内容を変更し、実施した

JICA NGO 等提案型プログラム
SDGs を推進するためのネットワーク

「京都 SDGs ラボ」 参加企業・団体募集中

2020年、SDGs達成に寄与することを目的とした「京都SDGsラボ」の企画がスタートします。京都市内で6回の研修プログラムを実施。プログラムはSDGsに関する理解向上だけでなく、事例共有、情報交換、人材交流を推進。さらにSDGs推進における課題を参加者同士で知恵や経験を持ち寄り、解決に向けたアドバイスを実施します。当研修を通して、2021年以降も様々な業界の垣根を超え、SDGs推進を行うプラットフォームを皆様と作っていきます。

企画運営 認定NPO法人テラ・ルネッサンス

(担当：啓発事業部 講演受付・支援連携担当 栗田佳典)

地雷、子ども兵、小型武器の課題に取り組む2001年に京都で設立された認定NPO法人。支援と啓蒙、政策提言を柱として、アジアやアジア、合計6か国で紛争被害者の自立支援などに取り組んでいる。人権、平和、キャリアなどをテーマに講演会を年間80回以上開催。SDGsに関する講演会や他団体（企業）へのアドバイスだけでなく、カードゲーム「2030SDGs」公認ファシリテーターとして、カードゲームによる研修も実施している。



協力 公益財団法人京都高度技術研究所 (SILK)

京都市ソーシャル・イノベーション研究所 (SILK) は、市民、企業、NPO、大学などの多様な組織や個人が、京都で社会的課題の解決に挑戦することで、過度の効率性や競争原理とは異なる価値観を日本はもとより、世界にも広めることを目的とした「京都市ソーシャル・イノベーション・クラスター構想」の推進拠点として2015年4月に設置された。構想全体のコーディネート機能を果たすとともに、行政・企業・NPO・大学・中間支援団体などを巻き込んだネットワークの形成や、所属するメンバーの他、多くのパートナーと共に、企業と公的機関とのマッチングを行うプラットフォームに取組んでいる。

会場 KYOCA 会館 3階 HACOBA

京都市下京区朱雀正会町1-1 【JR山陰本線「梅小路京都西」駅 徒歩1分】

参加費 無料 定員 50名 (25社・団体) ※原則、各組織から2名の参加をお願いしております。

申し込み 右のQRコードを読み取り、お名前・職業・参加人数などを明記の上、お申し込みください。 <https://forms.gle/RoXYWtVixpsyAMfA>



主催 独立行政法人国際協力機構 JICA

連絡先 認定NPO法人テラ・ルネッサンス (担当：栗田)

〒600-8191 京都市下京区五条高倉角堺町21番地 Jimukinouedabldg.403号室

(TEL) 075-741-8786 (MAIL) kyotoSDGslabo2030@gmail.com

研修プログラム内容

- DAY 1**
2020.4.24
テーマ SDGsの理解向上と協働事例発表
 - 参加団体自己紹介
 - SDGsカードゲーム
 - 協働の大切さについてのレクチャー
 - SDGsと自団体の取り組みとのマッチング
 - SDGsに関連する企業とNGOの協働事例について事例報告**会場** KYOCA 会館 3階 HACOBA **日時** 令和2年4月24日(金) 14:00~17:00
- DAY 2**
2020.5.22
テーマ 参加団体のSDGsにおける課題を抽出、整理する
 - 参加団体自己紹介
 - 企業とNGOの事例紹介
 - 企業→SDGs推進における課題の抽出
 - NPOの企業への提案力向上の事例研修（企業、団体からこんな提案は困るなどの意見を聞く）
 - NPO→各団体の課題（目標達成に向けて不足しているもの、ことなど）の抽出**会場** KYOCA 会館 3階 HACOBA **日時** 令和2年5月22日(金) 14:00~17:00
- DAY 3**
2020.6.19
テーマ 参加団体の課題を協働で解決する方法を提案し合う(その1)
 - 各団体の課題を共有
 - 参加団体が課題を持つ団体に、自団体と協働でこんな解決ができるなどの提案を持ち込む。団体同士のマッチングを行っていく。その後は各団体を個別で詰めていく。**会場** KYOCA 会館 3階 HACOBA **日時** 令和2年6月19日(金) 14:00~17:00
- DAY 4**
2020.7.31
テーマ 参加団体の課題を協働で解決する方法を提案し合う(その2)
 - 6月同様、各団体の課題を共有
 - 参加団体が課題を持つ団体に、自団体と協働でこんな解決ができるなどの提案を持ち込む。団体同士のマッチングを行っていく。その後は各団体を個別で詰めていく。**会場** KYOCA 会館 3階 HACOBA **日時** 令和2年7月31日(金) 14:00~17:00
- DAY 5**
2020.12.18
テーマ 中間報告、新たな協働マッチング
 - 実践を通してどのような成果や課題があったかなどの中間報告、課題がある場合はさらなるマッチングを行う。
 - その他、団体同士の情報交換、SDGs推進事例発表を実施予定。**会場** KYOCA 会館 3階 HACOBA **日時** 令和2年12月18日(金) 14:00~17:00
- DAY 6**
2021.3.5
テーマ 振り返り
 - 実践を通しての成果や課題、協働事業の工夫や困難だったことなど、全体で振り返る。
 - 6月に向けたシンポジウムについて調整を行う。
 - 各団体での協働事業実施報告書を作成。**会場** KYOCA 会館 3階 HACOBA **日時** 令和3年3月5日(金) 14:00~17:00

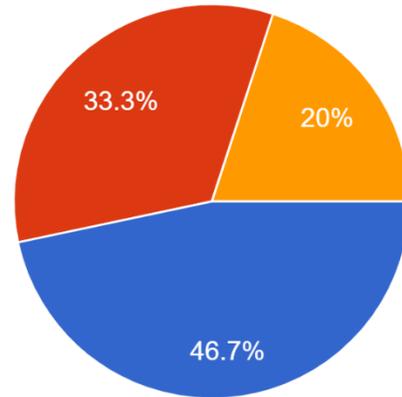
※上記内容、会場は変更になる可能性があります。 ※参加が決定した企業、団体は随時ウェブサイトにて発表してまいります。
 ※2021年6月5日(土)14時~17時(京都市内) 京都のSDG国際協力アクターによるシンポジウム(事業報告会)
 本プログラムによっての成果発表会を予定し知照します。

申し込みは 右のQRコードを読み取り、お申し込みください。



新型コロナウイルス感染拡大の影響により、法人経営について影響はありますか。

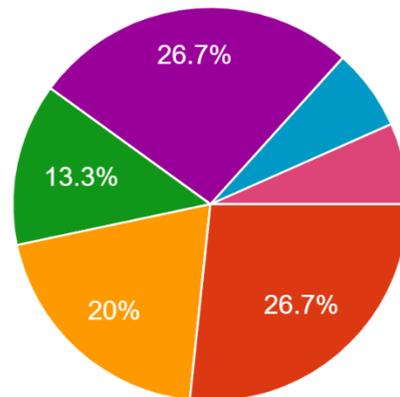
15件の回答



- 現在、深刻な影響が出ている。
- 今後、深刻な影響が出ると思う。
- 現時点では、深刻な影響は想定されない。
- わからない。

新型コロナウイルス感染拡大により、SDGs推進...組織内の働き方改革は除く)に影響はありますか。

15件の回答

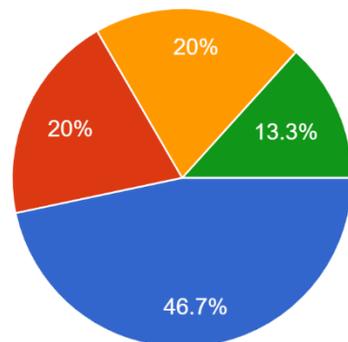


- 事業をすべて中止する。
- 事業の一部を中止する。
- 事業を延期する。
- 延期ではなく事業内容を変更して実施する。
- 予定通り実施する。
- 未定・調整中。
- 現在SDGs推進に関わる事業はない。

新型コロナウイルスとSDGs推進についてのアンケート 2020年6月実施 15社回答

新型コロナウイルスの感染拡大によって、組織内でSDGs推進に対する意識に変化はありましたか。

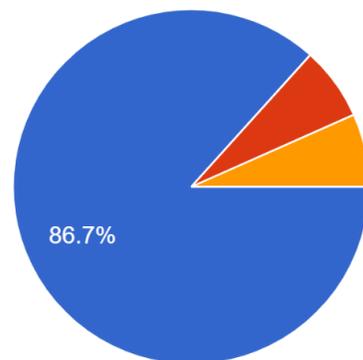
15件の回答



- 今までと変わらず、SDGsを進めようという意識がある。
- SDGsを推進しようという意識が高まった。
- SDGsを推進しようという意識が下がった。
- 元々SDGs推進に対する意識が特に高くない。

SDGs推進に対する意識の向上や具体的な事業の...体、行政、教育機関など）との協働を望みますか？

15件の回答



- はい
- いいえ
- わからない

新型コロナウイルス感染拡大により事業やSDGs推進に影響はありながらも意識の低下は少なく、何かしらの事業展開や協働を望む声を確認し、オンラインでの事業実施を決断した

オンラインイベント

2020年7月20日電通

2020年7月27日京都市

2020年8月12日環境市民

2020年8月20日電通、京都市、環境市民対談企画

2021年2月12日株式会社エムアールサポート

その他youtubeへの掲載動画 10本 合計844回再生 Youtube チャンネル登録者26人

京都SDGsラボ
チャンネル登録者数 26人

チャンネルをカスタマイズ 動画を管理

アップロード済み すべて再生

動画タイトル	再生時間	再生回数
【特別対談企画】京初！ジャパンSDGsアワード受賞の2団体が考える、SDGsと協働	59:03	63回視聴
京都SDGsラボ本登録について	6:17	45回視聴
京都SDGsラボオンライン対談シリーズ 京都SDGsラボ座談会	1:32:32	91回視聴
ひとりひとりがSDGsを実現する主人公になるために	1:01:17	153回視聴
ニューノーマル時代におけるSDGsアクションの進め方	1:00:16	226回視聴
京都SDGsラボSILKさま対談	20:39	53回視聴
15分でわかるSDGs	15:20	67回視聴
テラ・ルネッサンス活動紹介	10:58	104回視聴
京都SDGsラボ概要説明	6:28	42回視聴





SDGs連携相談員派遣

3社 6回
さらに、中学校の研修授業仲介



オンライン交流会

2020年10月15日から毎月第3木曜日12時～13時開催
計14回各回10名程度参加



つなぎ場（マッチングイベント）

- 第1回2021年2月12日 キルギスの一村一品運動 OVOP+1の販路開拓→京都新聞に掲載
- 第2回2021年4月27日 フィリピンのフェアトレード商品販売 フェア・プラスの販路開拓
- 第3回2021年7月19日 環境系団体 環境市民による企業市民の在り方講座
- 第4回2021年8月6日 フィリピンの貧困対策 アクセスのオンラインスタディツアー
- 第5回2021年9月30日 企業のSDGs推進取り組み事例 星和電機株式会社
- 第6回2021年11月22日 京都市、まちとしごと総合研究所



京都SDGsラボによって生まれた協働事例

京都市教育委員会 × JICA × NGO × 企業



JICA 関西 Presents 夏休み集中プログラム (場所: キャンパスプラザ京都)

MY ACTION! 行動にうつすSDGs

京都市立高校生の代表者が、国内外でSDGsに関するビジネスや民間団体を訪問する人々と交流し、その実践や価値観に触れ、世界の現状を知り気づきを促す。そして仲間と切磋琢磨して、SDGsの推進に向け自分自身でできることを考え、実際に行動にうつします。

参加費 無料 (会場までの交通費は各自負担です。)

日程	内容	講師(予定) ※後継	主な関連SDGs
7月27日(火) 13:30~16:30	●オープニング「私と世界」プログラムの説明 ●SDGsカードゲーム「2030 SDGs体験」 ●アフリカの職人と私たちの生活とのつながり	JICA京都デスク 畑中 達 認定NPO法人 アラトネッサンス 藤田佳典	全体テーマ「行動にうつすSDGs」 8. 働きがいも経済成長も 12. つくる責任つかう責任 17. パートナースHIPで目標を達成しよう
7月28日(水) 13:30~16:30	●フィリピン オンライン・スタディツアー フィリピンオンライン スラム街のツアーや、スラム街出身者と対談・交流	認定NPO法人アクセス 野田沙良	1. 貧困をなくそう 4. 質の高い教育をみんなに
8月2日(月) 13:30~16:30	●JICAキルギスのプロジェクト キルギスとオンライン 地域の原料を利用した持続可能なビジネス展開	JICAキルギス OVOPプロジェクト 原口明久	5. ジェンダー平等を実現しよう 9. 産業と技術革新の基盤をつくろう
8月4日(水) 13:00~17:00	●産で織るオーガニックタオル 最大限の安全と最小限の環境負荷	IKEUCHI ORGANIC 京都スタジオ 益田靖子	12. つくる責任つかう責任
8月5日(木) 13:00~17:00	●途上国から世界に通用するブランドづくり 想いをどうやって行動にうつせばよいのか	MOTHERHOUSE 兼古詩織	8. 働きがいも経済成長も 10. 人や国の不平等をなくそう
8月5日(木) 13:00~17:00	●企画Day プログラム終了後、自分たちはどのように行動にうつすのか考えよう	JICA京都デスク 畑中 達	自分が興味・関心のあるSDGs

※内容は変更となる可能性があります。

※費用は各自で負担してください。

※募集要項は別途配布いたします。

※お問い合わせは、京都市教育委員会学校課(075-222-3811)まで

グローバルリーダー育成研修

京都市立の高校に通う高校生38名を対象にしたグローバルリーダー育成研修に協力した。

【背景】

京都市教育委員会が主催する京都市立の高校生たち対象の海外研修事業がコロナ禍のため、実施が難しくなり、日本国内での研修に切り替わった。京都市教育委員会、JICA京都デスクから相談を受け、京都SDGsラボも同事業の企画から関わることになった。

【内容】

京都のNGOからは、アクセスとテラ・ルネッサンスが出演。さらに当プログラムでイベントにも出演したキルギスのOVOP+1を紹介し、オンラインで海外をつなぎ、研修を行った。さらに京都の企業2社 IKEUCHI ORGANIC とマザーハウスの出演も実現し、NGOと企業様々な視点でSDGsを考える機会となった。そして研修の中でグループをつくり、SDGs推進のためのアクションを検討。各自で実施した取り組みについて、12月19日にオンラインで行われる「ワン・ワールドフェスティバル for youth」で発表の機会を提供。主催する関西NGO協議会を紹介した。

【今後の展望】

新型コロナウイルス感染状況が読めないところであるが、京都市教育委員会と京都のNGOや企業との協働が事例となり、今後の学習機会、協働機会の創出を図っていきたい。

エムアールサポート × NGO



PCで行う測量技術の多言語化 による海外進出協力

測量による雇用創出ができないか企業から相談を受け、
海外で活動を行うNGOが協力した。

【背景】

PCによる測量を実現した京都の企業が、この技術を生かし、
海外での雇用機会の提供につなげることができないか京都
SDGsラボに相談があった。

【内容】

海外に事業地を持つNGOが協力。カンボジアで実際にその仕
事ができるか試行している。（カンボジア、フィリピンなど）

【今後の展望】

海外での使用が可能になれば、具体的に雇用を生み出す取り組
みにすることができないかを調整、検討していく。京都の企業
とNGOの協働事例になることを期待。

洛西高校 × テラ・ルネッサンス



SDGsを学ぶ高校からの 授業展開

新1年生に対し、SDGsの導入としての授業ができないか相談を受け、京都SDGsラボの運営を担うテラ・ルネッサンスが講演を実施した。

【背景】

グローバルネットワーク京都に加入している洛西高校から1年生がこれからSDGsを学習し、ポスターセッションのためのポスターを作り上げていく。その導入として話をしてほしいと依頼を受けた。

【内容】

1年生に対して、SDGsについての解説や京都SDGsラボの取り組みを紹介した。

【今後の展望】

今後ポスターセッション制作時の相談も受けながら、協力を続けていきたい。



清水寺 × NGO × バレエ団 × 教育機関



SDGsをつなぎ目とした 啓発イベント

清水寺境内にて、「清水寺で世界を語る」を11月3日に開催。テラ・ルネッサンスが実行委員長となり、バレエ団、教育機関、NGO、清水寺の協働イベントを実施した。

【背景】

清水寺で国際協力、SDGsの啓発ができないかと京都のNGO、バレエ団、教育機関が結集。実行委員会を作り、企画から開催までを自らで行った。

【内容】

それぞれがSDGs達成に向け自分にできることを実践。バレエ団は踊りを通して、高校の柔道部は柔道を通して、天文地学部生徒はワークショップを通して、そしてNGOはブースでの解説を通して、SDGsの課題や取り組みの啓発を、拝観者に向けて、行った。

【今後の展望】

今後も継続したイベントとして実施を続けていきたい。



協働が生み出す社会をつくる確かな一歩

他にも下記のような動きが京都SDGsラボによって実現しました。

- ・キルギスの一村一品運動を行うOVOP+1がゲストとなったつなぎ場のブログ記事を読んでインターン希望の学生から問い合わせ、紹介をした。
- ・交流会で話があがった企業を紹介し、訪問を実現。
- ・相談を受け、助言をしていた企業がSDGs宣言を発表。その事例もイベントで報告いただいた。
- ・つなぎ場の参加者がNGOに企業を紹介。実現には至らなかったが、知り合うきっかけに。
- ・NGO同士の交流が活性化。コロナ禍ではあるものの互いの情報交換を実施できた。
- ・環境系NGOと国際協力系NGOのつながりが強固となり、互いのイベントのゲストとして迎えるようになった。
- ・オンラインイベントの出演者同士で交流が深まり、登録NGOが別イベントと一緒に登壇をした。
- ・中学生がSDGsの理解を深めるために企業や団体へ訪問する希望が増加し、問い合わせを受け、京都SDGsラボがコーディネートしながら、約10社への訪問を調整(中学校側の都合により、実施には至らなかった)。
- ・本登録企業の社員のユニフォームをフェアトレードの商品を扱うシサム工房と共同制作。フェアトレードのメッセージがバックプリントに描かれたTシャツを着用し、フェアトレードを意識するきっかけに。

SDGsは様々なアクターのつなぎ目になれる。
今後も社会課題の解決のため
コロナ禍の2年で作り上げたこの地盤を活かし、
まずは京都の中で様々な協働を創出し
SDGsの推進を加速させていく。

